

# 避難の母子に憩いの場を

福島などから避難し、児サークルランド」が  
ているママさん、お茶 11日、山形市の一軒家  
を飲みに来てみません を借りて母子が集う施  
か」。山形市で育児 設「ままカフェ@h  
支援施設を運営するN me」をオープンする。  
PO法人「やまがた育 「実家のような雰囲気



窓にガラス飛散防止シートを貼るスタッフら

## 「ままカフェ」オープン

育児NPO きょう山形の一軒家で

気で、お母さん同士が や解決の糸口につなげ  
気楽に話せる場所を作 っていく。駐車場は6台  
りたかった。大勢の人 分、使用スペースは和  
の輪に入るのが苦手な 室が2間。10〜20人で  
お母さんにも足を運ん いっぱいになるぐらい  
でもらいたい」。代表 の大きさは、その分  
の野口比呂美さん(50) くつろいだ雰囲気の中  
は話す。 間になった。  
火曜と水曜の毎週2 育児サークルランド  
と母子だけで過ごし

## 悩みや思い話して

### 臨床心理士と面談も

回、午前10時から午後 は、昨年7月から市内  
4時まで開く。スタッ 各地のコミュニティー  
フを少なくとも2人は センターや公民館を会  
置き、就学前までの子 場に、避難した母子ら  
供を遊ばせながら母親 が集う「ままカフェ」  
たちはお茶を飲みつつ ロン」を月3回のペー  
会話が出来る。悩みや スで続けてきた。延べ  
思いを互いに話してみ 約2600人が参加し  
ること、現状の確認 たが、リピーターも多  
り、日常生活を取り戻  
していくと、今度はそ  
れぞれの家庭が持つ事  
情や悩みが出てくると  
いう。理解があつて毎  
週福島から来る旦那さ  
んもいれば、「いいかげ  
んに帰ってこい」と言  
われることもある。ま  
まカフェ@homeで  
は、臨床心理士と面談  
できる相談事業は「  
とケア」も月2回の予  
約制で行う。今月は16  
日と25日にある。  
ままカフェ@home  
では10日もスタッ  
プが準備作業に追われて  
いた。担当者は「お母  
さん方が集まってアイ  
デアを出すことで、い  
ろんな使い方ができる  
ようにしたい」と話す。  
ままカフェ@home  
は、山形市あかねが丘  
3の8の23。利用無料。  
電話023・687・  
1720。

【安藤龍朗】